

みくこのまひとひとり  
三国真人人足の歌一首

一六五五番

高山たかやまの 菅すがの葉はしのぎ 降ふる雪ゆきの 消けぬとか言いは  
も 恋こひの繁しげけく

おほとものさかのうへのいちつめ  
大伴坂上郎女の歌一首

一六五六番

酒坏さかつきに 梅うめの花はな浮うかべ 思おもふどち 飲のみての後のちは  
散ちりぬともよし

こた  
和ふる歌一首

一六五七番

官つかさにも 許ゆるしたまへり 今夜こよひのみ 飲のまむ酒さけかも  
散ちりこすなゆめ